



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

天皇葬礼における「公」と「私」。 古代から現代までの歴史的変遷をたどる

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

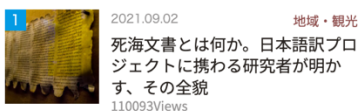
学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

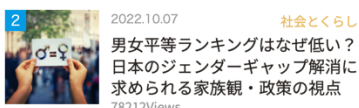
OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

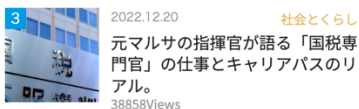
人気の記事 \よく読まれている記事！/



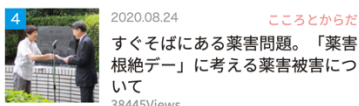
OTEMON VIEW編集部



OTEMON VIEW編集部



OTEMON VIEW編集部



OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

天皇の葬礼は神道や仏教といった宗教、時代背景や社会情勢などによってさまざまに変化してきました。たとえば土葬か火葬か、埋葬の方法も時代によって異なります。

戦後「開かれた皇室」として、私たち国民も皇室のことをある程度は知ることができるようになってきましたが、こと葬礼に関しては知られていないことも多くあるようです。今回は、朝廷儀礼に詳しく『中世天皇葬礼史』（戎光祥出版 2020）などの著書がある久水俊和准教授による天皇葬礼の歴史解説です。

（以下は主なポイント）

【古代】天皇葬礼は国家的な弔い

○火葬への転換。衰退する殯儀礼と薄葬(はくそう)の始まり

【中世】「天皇葬」から「ただ人葬」へ。“死なない天皇”の出現

○中世では“天皇の死”は許されなかった！？

【近世以降】“死ぬ天皇”への回帰

○江戸初期、火葬から土葬へと転換

○明治維新を経て、再び国家的儀礼としての葬礼へ

これからの天皇葬礼のあり方について

○検討が重ねられる「火葬」「陵墓」「殯」と公私行事

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/3639/>

天皇葬礼における「公」と「私」。古代から現代までの歴史的変遷をたどる



記事のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 仲西・織田